



(最高学年、苦楽を糧に、さあ、クライマックス!)

上野高校進路指導部通信(3年生 家庭配布版) vol.3 2013/6/21

今更聞けない大学入試の基礎知識

☆国公立大学とか私立大学って何？

国公立大学とは国が設置者である国立大学と地方公共団体が設置者である公立大学の総称です(正確には「国立(公立)大学法人」が設置者)。私立大学とは学校法人が運営する大学です。現在国立大学86 公立大学92 私立大学608あります。国公立大学の授業料は年間54万円、私立大学は授業料が文系で年間130万円、理系で160万円、医療系、芸術系になるとさらに高額です。施設や教員数などにも違いがあります(金額は概算です)。

☆国公立大学と私立大学の入試はどう違うの？

国公立大学の一般試験は、一次試験であるセンター試験、二次試験である大学ごとの個別試験からなり、両者の総合得点で合否が決まります。出願、個別試験はどの大学も同じ日に設定されているので、一人で何校も受けられません。一方私立大学は各大学が個別に入試日程を設定しているので、日程が許す限り何校でも受験可能です。入試にかかる費用は、センター試験 18,000 円 国公立1回 17,000 円、私立1回 35,000 円で私立のセンター方式は1回 20,000 円程度です。

☆国公立大学の前期試験とか後期試験って何？

国公立大学を受験する人は最初にセンター試験を受け、試験後に「志望校」に出願し、二次試験を個別に受験します。二次試験には「分離分割方式」と「公立大学中期日程」があります。

分離分割方式とは、同じ大学・学部の募集定員を前期(2月下旬)と後期(3月中旬)の2つの日程に分けて、入試を行う方式です。通常前期の募集定員が多く、後期は少なめです。また出願は前期と後期を同時に行います。前期に合格して手続きをすれば後期は受験できません。

中期日程は公立大学の一部で実施されています。前期と後期の間に試験が実施され(3月上旬)、併願可能です(出願は前期後期と同時)。前期入試で合格して手続きすれば合格から除外されます。

通常は第一志望の大学を前期に、第二志望以降の大学を後期、中期で出願します(第一志望を前期、後期と通して受験することも可能)。このように国公立大学の一般試験は最大3校しか受験できないので、「センター試験で□□%とれた時は、前期は○○、後期は△△」というように、出願の組み合わせを何パターンかシミュレーションしておく必要があります。*これと別日程の公立大学も一部あります。

☆国公立と私立って入試科目に違いがあるの？

国公立大学の多くはセンター試験で5教科7科目(国、外+リス、数×2 地歴・公民・理科から3)、二次試験で2~3教科(文系は国、英必須で難関では社や数が追加。理系は数、理(1or2)、英)を課し

ます。国公立大学は研究機関であり、大学も研究に耐える学力を持つ学生を求めているので、科目数は多めです。一方私立大学の個別試験は文系(英・国・社)、理系(英・数・理)とも3教科が主流です。

☆推薦とかAO入試とかって何？

推薦入試は、学校長の推薦を受けて受験します。つまり「上野高校生として推薦するにふさわしい人物」であることが前提条件です。入試科目は1~2科目と軽量ですが、高校での成績、特別活動の記録などが数値化されますし、面接が課されたりします。入試は11月に行われます。

AOとは「アドミッションオフィス」を略したもので、面談の申し込み(エントリー)から始まって、志望理由書、大学の講義出席とレポート提出、口頭試問など長期間にわたって生徒が大学の掲げる「アドミッションポリシー」(求める学生像)に適合するかを判断し選考します。夏休みぐらいから一次エントリーが始まります。

これらの入試は「筆記試験だけでは判断が難しい資質を見極める」ことが目的で実施されます。「入試科目が少ないし早く決められるから楽」といった安易な気持ちで出願するのは推薦の趣旨に反します。

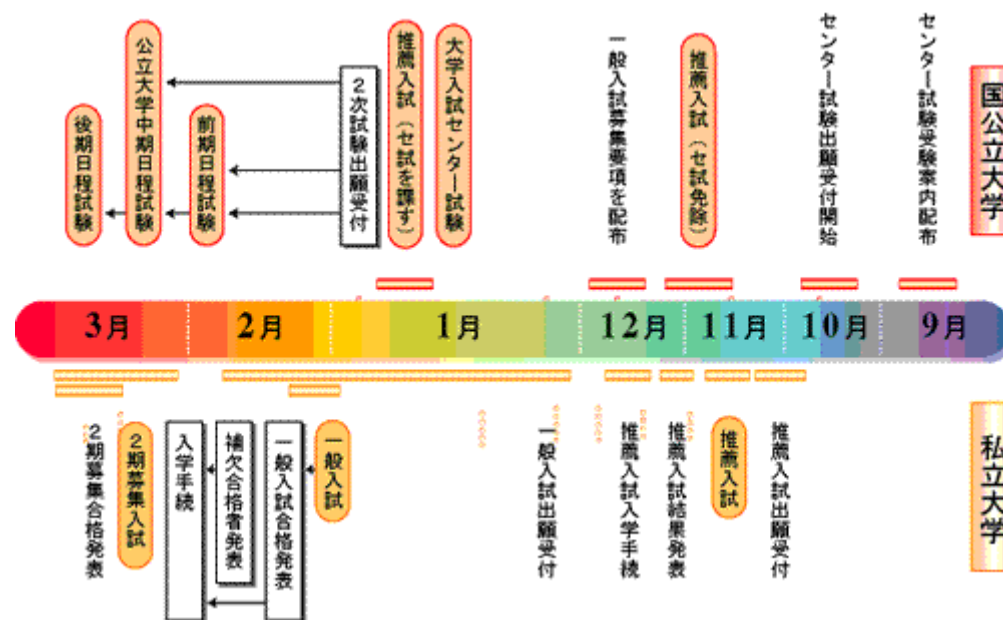
☆大学ってどれぐらい受けたらいいの？

①合格は微妙だけど行きたい学校(チャレンジ校)、②順調にいけば合格可能な学校(実力相応校)、③確実に合格できる学校(安全校)の3つを組み合わせます。国公立大学志望者なら、前期①、後期②、私立(②×2+③×1)、私立志望なら①×2、②×2、③×1が基本ラインです。

☆どこの大学なら合格しそうかってどうやってわかるの？

この間の模試の結果で、C判定がついた大学が上述の①、B判定なら②です。またマーク模試の生徒資料にはボーダー(合格率50%)のセンター得点率や偏差値ランクが載っていますから、自分の持ち点と見比べて、持ち点>ボーダーならチャレンジ可能、逆なら一層の努力が必要ということです。

受験の流れ(参考 東進オンライン)



詳しくは『進路の手引き』の該当ページをご覧ください!